

**特別講演**

■ 2025年12月7日(日) 10:00 ~ 11:30 ▲ 第5会場(4F GALLERY)

**[2UDX501-01] 特別講演**

座長:小林 真実、宮下 勉

10:00 ~ 11:30

**[SP] 在宅医療シンポジウム**

\*河村 朋子<sup>1</sup>、齊藤 直裕<sup>2</sup>、阿部 博樹<sup>3</sup>、川端 城聖<sup>4</sup> (1.一般社団法人横浜市磯子区医師会 2.新宿ヒロクリニック 3.プラーナクリニック 4.杏クリニック)

在宅医療は日本の超高齢社会において、単なる医療サービスではなく「生活を支える医療」として不可欠である。

今後の在宅医療需要拡大に伴い、臨床検査技師の役割は大きく広がる可能性がある。しかしながら、現状、他職種から見る臨床検査技師は「病院や検査室の専門職」というイメージが強く、在宅医療の現場ではまだ「よく知らない存在」である。

臨床検査技師が在宅医療に入り込むには、「検査をするだけ」ではなく「データを活かし、他職種に伝える役割」を果たすことが強く求められていると考えられる。その様な背景を鑑み、他職種の視点で、在宅医療における臨床検査技師の関わり方について各職種からコメントを頂く。合わせて、在宅医療の現場で活躍する臨床検査技師に求められる知識や技術についての議論を行う。